

幼児教育学科

				a	b	c	d
学部ディプロマ・ポリシー				仏教精神に基づく4つの力、 ①自分を客観的にとらえる力、 ②目標に向かって継続し努力する力、 ③周りの人を思いやる力、 ④多様性を受け入れて協力する力を身につけ、教育学や臨床心理学領域の知識や技能と統合して活用することができる	教育学・臨床心理学領域における原理的な理解に基づき、「理論と実践を往還」させて多様な視点から知識構築や技能修得をし、諸問題の解決と新たな創造に取り組むことができる ①教育学・臨床心理学領域に必要な基礎的な知識や視点を修得している ②教育学・臨床心理学領域の深い知識構築や技能修得をしている ③社会（特に学校・園や臨床心理学の必要とされる現場）における問題を把握した上で、必要な情報を収集・分析・解釈し、解決に向けて表現することができる ④社会（特に学校・園や臨床心理学の必要とされる現場）における状況を把握した上で、必要な情報を収集・分析・解釈し、未来志向的な創造に向けて表現することができる	社会（特に学校・園や臨床心理学の必要とされる現場）の一員としての意識を持ち、自らを律し、他者と協調・協働することで、教育学・臨床心理学領域の学習・研究で構築した知識や技能等をもとに、子ども・人の発達成長や心の健康に貢献することができる	目的や目標をもって生涯にわたり主体的に学び探究し続け（学び続ける教員・学び続ける心理学の実践家）、自らの振り返りにより、それまでの体験・実践・身につけた多様な能力を統合することができる。あわせて、他者と協働的に学び探究し、ともに成長することができる
系列区分	授業科目の名称	単位数	履修開始 セメスター				
専 門 科 目	教育原論	2	1	○	◎	△	
	教育相談の理論及び方法	2	3		◎	○	△
	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1	3	△	◎	○	
学科ディプロマ・ポリシー				仏教精神に基づく4つの力、 ①自分を客観的にとらえる力、 ②目標に向かって継続し努力する力、 ③周りの人を思いやる力、 ④多様性を受け入れて協力する力を身につけ、幼児教育学領域の知識や技能と統合して活用することができる	幼児教育学領域における原理的な理解に基づき、「理論と実践を往還」させて多様な視点から知識構築や技能修得をし、諸問題の解決と新たな創造に取り組むことができる ①幼児教育学領域に必要な基礎的な知識や視点を修得している ②幼児教育学領域の深い知識構築や技能修得をしている ③社会（特に園）における問題を把握した上で、必要な情報を収集・分析・解釈し、解決に向けて表現することができる ④社会（特に園）における状況を把握した上で、必要な情報を収集・分析・解釈し、未来志向的な創造に向けて表現することができる	社会（特に園）の一員としての意識を持ち、自らを律し、他者と協調・協働することで、幼児教育学領域の学習・研究で構築した知識や技能等をもとに、子どもの発達成長に貢献することができる	目的や目標をもって生涯にわたり主体的に学び探究し続け（学び続ける教員・保育者）、自らの振り返りによりそれまでの体験・実践・身につけた多様な能力を統合することができる。あわせて、他者と協働的に学び探究し、ともに成長することができる
系列区分	授業科目の名称	単位数	履修開始 セメスター				
学 科 基 礎 科 目	アカデミック・スキルズ	2	2		◎	○	△
	教育学基礎演習1	2	3		◎	○	○
	教育学基礎演習2	2	4		◎	○	○
	教育心理学	2	1	△	◎	○	
	教育心理学2	2	2	△	◎	○	
	教育社会学	2	1	△	◎	○	
	教育社会学2	2	2	△	◎	○	
	教師・保育者論	2	2	△	◎	○	
	幼児教育・保育課程論	2	2	△	◎	○	
	幼児理解及び保育相談	2	3	△	◎	○	
	保育原理	2	1	△	◎	○	
	教育哲学	2	2	△	◎	○	
	教育史	2	1	△	◎	○	
	教育人間学	2	3	△	◎	○	
	教育行政学	2	1	△	◎	○	
	教育行政学2	2	2	△	◎	○	
	臨床教育学	2	3	△	◎	○	
	学校経営論	2	3	△	◎	○	
	学級経営論	2	3	△	◎	○	
	発達心理学	2	3	△	◎	○	
	比較教育学	2	3	△	◎	○	
	教育法規	2	3	△	◎	○	
	教育評価論	2	3	△	◎	○	
	特別支援教育総論	2	3	△	◎	○	
	教育学演習1	2	5	○	◎		◎
	教育学演習2	2	6	○	◎		◎
	卒業論文演習1	2	7	○	◎		◎
	卒業論文演習2	2	8	○	◎		◎
	卒業論文	6	8	○	◎		◎
	保育の内容及び方法	2	3	△	◎	○	
	○幼児と健康	2	1		◎	○	
	○幼児と人間関係	2	1		◎	○	
	○幼児と環境	2	1		◎	○	
○幼児と言葉	2	1		◎	○		
○幼児と表現(造形)	2	1		◎	○		
○幼児と表現(音楽)	2	1		◎	○		
○幼児と表現(身体)	2	1		◎	○		

幼児教育学科

学科ディプロマ・ポリシー				a	b	c	d			
仏教精神に基づく4つの力、 ①自分を客観的にとらえる力、 ②目標に向かって継続し努力する力、 ③周りの人を思いやる力、 ④多様性を受け入れて協力する力を身につけ、幼児教育学領域の知識や技能と統合して活用することができる				幼児教育学領域における原理的な理解に基づき、「理論と実践を往還」させて多様な視点から知識構築や技能修得をし、諸問題の解決と新たな創造に取り組むことができる ①幼児教育学領域に必要な基礎的な知識や視点を修得している ②幼児教育学領域の深い知識構築や技能修得をしている ③社会（特に園）における問題を把握した上で、必要な情報を収集・分析・解釈し、解決に向けて表現することができる ④社会（特に園）における状況を把握した上で、必要な情報を収集・分析・解釈し、未来志向的な創造に向けて表現することができる	社会（特に園）の一員としての意識を持ち、自らを律し、他者と協調・協働することで、幼児教育学領域の学習・研究で構築した知識や技能等をもとに、子どもの発達成長に貢献することができる	目的や目標をもって生涯にわたり主体的に学び探究し続け（学び続ける教員・保育者）、自らの振り返りによりそれまでの体験・実践・身につけた多様な能力を統合することができる。あわせて、他者と協働的に学び探究し、ともに成長することができる				
系列区分	授業科目の名称	単位数	履修開始セメスター							
専門科目	学科専攻科目	保育内容の理論と方法「健康」	2	3		◎		○		
		保育内容の理論と方法「人間関係」	2	3		◎		○		
		保育内容の理論と方法「環境」	2	3		◎		○		
		保育内容の理論と方法「言葉」	2	3		◎		○		
		保育内容の理論と方法「造形表現」	2	3		◎		○		
		保育内容の理論と方法「音楽表現」	2	3		◎		○		
		保育内容の理論と方法「身体表現」	2	3		◎		○		
		人権(同和)教育	2	3		◎	○			
		ICTの活用及び教育	2	3		◎	○			
		国際理解教育演習	2	3		◎	○			
		子ども家庭福祉	2	2		◎	○			
		社会福祉援助技術論1	2	3		◎	○			
		子ども家庭支援論	2	5		◎	○			
		社会的養護1	2	3		◎	○			
		子ども家庭支援の心理学	2	3		◎	○			
		子どもの保健	2	3		◎	○			
		子どもの食と栄養	2	5		◎	○			
		乳児保育1	2	3		◎	○			
		乳児保育2	1	5		◎	○			
		子どもの健康と安全	1	5		◎	○			
		障害児保育	2	3		◎	○			
		社会的養護2	1	5		◎	○			
		子育て支援	1	3		◎	○			
		保育実習1A	2	6	○	◎	◎			
		保育実習1B	2	6	○	◎	◎			
		保育実習指導1(事前)	1	5		◎	○			
		保育実習指導1(事後)	1	6		◎	○			
		保育実践演習	2	8	○	◎		○		
		ピアノ指導1	1	1		◎		○		
		ピアノ指導2	1	2		◎		○		
		ピアノ指導3	1	3		◎		○		
		ピアノ指導4	1	4		◎		○		
		保育実習2	2	7	○	◎	◎			
		保育実習指導2	1	7		◎	○			
		保育実習3	2	7	○	◎	◎			
		保育実習指導3	1	7		◎	○			
		関連科目	関連科目	教育原論2	2	2		◎		
				教育実習(幼・小)1	2	5	○	◎	◎	
				教育実習(幼・小)2	2	5	○	◎	◎	
				教育実習指導(幼・小)	1	5		◎	○	
				教職実践演習(教諭)	2	8	○	◎		◎
				保育・教職実践演習(教諭)	2	8	○	◎		◎
				現場体験実習1	1	1	○	◎	◎	
				現場体験実習2	1	2	○	◎	◎	
				現場体験実習3	1	3	○	◎	◎	
現場体験実習4	1			4	○	◎	◎			
レクリエーション実技	1			3		◎		○		
レクリエーション指導実習	1			3		◎		○		
レクリエーション概論	2			3		◎		○		
宗教教育論	2			3	◎	◎				
視聴覚教育メディア論	2			3		◎	○			
仏教音楽教育論	2	1	○	◎						